

6年	単 元 名	縄文のムラから古墳のクニへ
(教科)社会		

1. 単元の目標

狩猟・採集や農耕の生活、古墳、国の形成に関する考え方に関心を持ち、豊かな自然の中で狩猟や採集の生活が営まれていたこと、各地に支配者が出現し、やがて大和朝廷による国土の統一されていったことが分かるようにする。

2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

縄文、弥生時代の島根の様子を、図書資料をもとに考える。

3. 授業での活用場面

学習活動	学校図書館の関わり
<p>◇縄文時代の人々が、狩猟や採集の生活につかっていたものを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根県教育委員会発行の図書資料などから、隠岐の島の黒曜石の存在を知り、利用場面や価値、流通について考えることができるようにする。 <p>◇弥生時代の遺跡から出土した遺物から、当時の人々のくらしやクニの様子を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根から出土したもの(銅剣、銅矛、銅鐸等)について図書資料で調べ、この地に金属を作る技術をもった大きなクニがあったことを知る。 ・他地域から同じ鑄型で作った青銅器が見つまっていることから、人々の交流があったことを理解する。 <p>◇古墳の分布や、それぞれの古墳の特徴を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書資料で古墳について調べる。出雲地域には独特の形状の古墳(四隅突出型墳丘墓)があることや、この古墳が中国地方を中心に北陸地方など広範囲に広がっていることを知り、出雲にあったクニが相当な勢力をもっていたことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・隠岐の島の黒曜石についての記述がある図書資料の準備と提供 【資料の提供、授業中のレファレンス】 ・荒神谷遺跡、加茂岩倉遺跡に関する図書資料、古代出雲歴史博物館の写真資料の準備と提供 【資料の提供、授業中のレファレンス】 ・四隅突出型墳丘墓を含む古墳に関する図書資料の準備と提供 【資料の提供、授業中のレファレンス】

4. 考察（成果や課題等）

歴史を、ふるさとの発展や今のくらしと関連付けて考えることはとても重要であり、遺跡、史跡、博物館、資料館が充実した本県では、教科書の内容を超えたこの地ならではの魅力ある学習ができると考える。ふるさとに関連した学習は児童の探究意欲が高く、効果的な学習ができた。

調べ学習では、児童が同時に図書資料を閲覧することも多く、数少ない資料はデジタル化して見られるような工夫を今後していく必要がある。